



医療法人 徳洲会

帯広徳洲会病院

2018年

2月号 Information

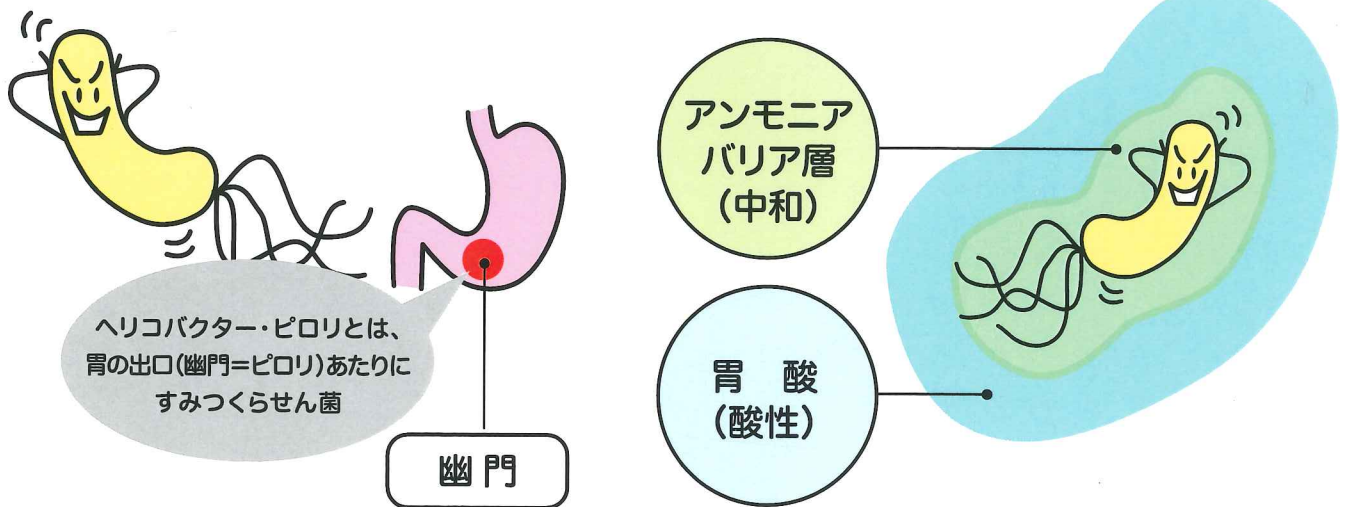
## ピロリ菌のお話①

ピロリ菌の正式名称は『ヘリコバクター・ピロリ』です。

「ヘリコバクター」の「ヘリコ」とは「らせん」とか「旋回」という意味で、ヘリコプターのヘリコも同じ意味です。「バクター」は「細菌」を意味する「バクテリア」のことです。

「ピロリ」とは、胃の出口(幽門)をさす「ピロルス」からきています。

つまり、ピロリ菌の名前の由来は、「幽門にいるらせん形の細菌」という意味です。



ピロリ菌は、胃粘膜に生息しています。胃粘膜は、強力な酸である胃酸に覆われているため、従来は、細菌も存在できないと考えられていましたが、研究により、胃の中にも存在できるピロリ菌という細菌がいることがわかりました。

ピロリ菌は、ウレアーゼという酵素を出して、自分の周りにアルカリ性のアンモニアを作り出すことで、胃酸を中和しながら胃の中に存在しています。

ピロリ菌の感染経路は不明ですが、飲み水や食べ物を介して口から菌が入ってしまうことで感染するのではないかと考えられています。

さらに、免疫機能が十分ではない幼児期に感染する可能性が高く、成人が新たに感染する可能性は低いようです。

日本人の場合、年齢は高いほどピロリ菌に感染している率が高く、60歳代以上の方の60%以上が感染しているといわれています。これは、水道水などのインフラがまだ整っていない時期に幼少期を過ごしたからではないかとされ、実際、衛生環境が整った頃に生まれた若い人では感染率が低くなっています。

ピロリ菌のお話②へ続く



監修 臨床工学技士主任  
西田 寛明

帯広徳洲会病院

〒080-0302 河東郡音更町木野西通14丁目2-1  
TEL(0155)32-3030 FAX(0155)32-3522